

※ 今週のアウトルック (3/12~3/16)

先週はサポートラインのブレイクに失敗し、リバウンドからの戻りを試す展開となりました。金曜日に発表された米国雇用統計の非農業部門生産者数が、予想を大きく上回り米ドル買いが大きく進みました。

今週は、米国雇用統計の良好な結果からのドル買いがどこまで進むのか、まずは見極める必要があります。

先週のドル円は、月曜日にサポートラインのブレイクに失敗すると、戻りを試すような展開が主流となりました。金曜日の米国雇用統計の発表では、非農業部門生産者数が予想を大きく上回り、107円近くまで上昇してそのままNY市場を終了しています。

今週はまずは良好な雇用統計の結果の影響がどこまで広がるか見極める必要がありますが、後半になっても戻りを試す展開が鈍らない場合には、しばらく上昇トレンドが継続する可能性も考慮する必要があります。

ドル円の予想レンジは105円から109円です。

ユーロ円は先週、129円から130円付近のサポートラインブレイクに失敗すると、戻りを試す展開が主流となり、132円近くまで上昇しています。

今週は良好な米国雇用統計の影響がどこまで広がるのか、まずは見極める必要がありますが、発表後ユーロドルのドルの買い戻しがあまり進まなかった点が、ユーロ円の今後の展開を予想しづらくしているように思います。

ユーロ円の予想レンジは129円から133円です。

ポンド円は米国雇用統計の良好な結果から、ある程度の上昇期待が持てますが、150円を超えた上昇はまだ少し難しいかもしれません。

ポンド円の予想レンジは145円から150円です。

今週は、良好な米国雇用統計の結果を踏まえ、ドルの買い戻しを期待したいところですが、NYダウやNK225の上昇が早い段階で鈍ってきてしまった場合には、ドル売りの動きが再び出てくる可能性も考慮する必要があります。

免責事項

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。